

あなたもできる国際協力


国際協力に興味を持ち、「なにかやりたい!」と思っても、どのように参加すればいいのか、どのようなものがあるのか、たくさんありすぎて迷ってしまう、と戸惑う方もいらっしゃるのではないのでしょうか。
そこで、大久保図書館が取り組んだ国際協力の一つをご紹介します。

大久保図書館では、2019年11月、読書リーダー講座のイベントとして、公益社団法人「シャンティ国際ボランティア会」様が主宰されている「**絵本を届ける運動**」に参加しました。(今年度の参加は未定)


「**絵本を届ける運動**」とは、子どもの本が足りない地域に、日本の絵本に訳文シールを貼って送る活動です。

(シャンティ国際ボランティア会HPより <https://sva.or.jp/activity/program/ehon/>)
動画でも活動の内容が紹介されています。

[「たのしくまなべるおうちじかん」](#)
[しょうがく1・2・3ねんせいむけ](#)

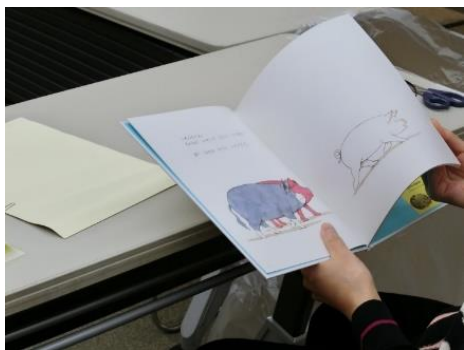
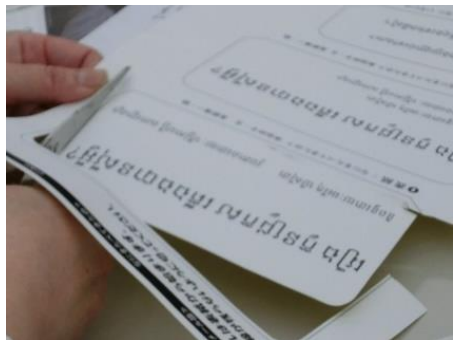


[ト一君の図書館](#)
[「たのしく学べるおうち時間」](#)
(小学4・5・6年生用)



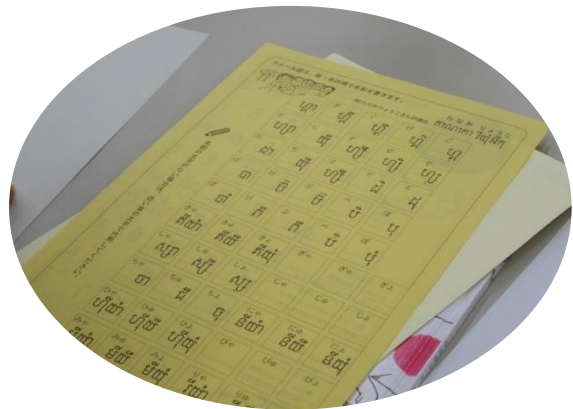
(※2019年のチラシ)

昨年のイベントでは、まず、シャンティ国際ボランティア会の活動と難民キャンプの説明をし、絵本を届ける途上国の様子を映像で観た後、作業に入りました。
学校にいけないこどもが何人いるか、字が読めない大人が何人いるかなどを具体的な数字で見てから、そのような国があること、そのような国に自分たちが翻訳シールを貼った絵本を送ることで意識をし、みなさん真剣に取り組まれました。
終了後は「自分がかんばってつくったものが外国人に読んでもらえるのはうれしい」「作ってよかった」等の声が聞かれ充実したイベントとなりました。



※2019年のイベントの様子です

このときの送り先はカンボジアでしたので、**クメール語**で名前を書く練習もしました。訳文シールを貼った絵本に作成者として名前を書くことができるのです。



今年はコロナ禍で気楽に外出することもままなりません、自宅に居ながらにしてできる国際協力もあります。ご興味を持たれた方はぜひシャンティ国際ボランティア会さんのホームページを覗いてみてください。

また、大久保図書館で『絵本を届ける運動』に参加する際は、告知いたしますので、新宿区立図書館のホームページも併せてご覧ください。